

# 令和3年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：31003  
学校名：札幌市立中島中学校

<p>プログラム改訂のポイント</p>	<p>◎自ら進んで運動やスポーツに親しむ指導の充実 ◎基本的な生活習慣を身につけ、豊かに生活する指導の充実</p>			
<p>項目名</p>	<p>項目内容</p>	<p>項目内容の具体</p>		
<p>目標</p>	<p>「健やかな体」の育成に係る目指す子ども像</p>	<p>☆「主体的に運動やスポーツに親しみ、自らの健康について考え、行動できる生徒」 ☆よりよい生活習慣を身につけ、生涯にわたって心身とともに健康を維持し続ける生徒の育成</p>		
<p>「健やかな体」の育成に関する成果や課題</p>	<p>A 体育に関する指導の充実</p>	<p><b>【具体的な取組】</b> ○教科指導の充実(準備運動における学年間の漸増的負荷の補強トレーニングと縄跳び運動) ○授業における課題探究的学習の実践 ○札幌らしいオリンピック・パラリンピック教育の推進</p>	<p><b>【成果】</b> ⇒基礎的体力の向上(R1年の2年生男女は新体力テスト札幌市平均と同程度のTスコアー) ⇒運動習慣等の調査結果から協働的学習の実践と成果を生徒自身が自覚し、課題解決意欲が高まっている。</p>	<p><b>【課題】</b> □男子の敏捷性と投球能力の高まりが課題。 □さらなる向上のための課題設定と目標設定。 □ICT機器を活用した指導の充実</p>
	<p>B 健康に関する指導の充実</p>	<p><b>【具体的な取組】</b> ○栄養教諭による食に関する指導の充実 ○性・健康に関する指導とさわやかチェックの推進 ○助産師・保健師による指導の充実 (外部人材の活用した講演会)</p>	<p><b>【成果】</b> ⇒夏の食生活をテーマに水分補給の大切さ、衛生的な食事の調理法や管理の仕方を学び、熱中症や食中毒予防について考える機会となった。 ⇒各学年にアンケート調査を行うことで生徒の実態に合った指導を行うことが出来た。 ⇒身近なテーマから健康について興味関心を持つ機会となった。 ⇒専門の方からののちの大切さについて学ぶ良い機会となった。 ⇒生活習慣チェックシートから、自分の生活習慣を見直す機会となった。</p>	<p><b>【課題】</b> □生活リズム改善を基本とし、今後の生活で生徒が取り組みやすい内容としたい。ICTも活用していきたい。 □「自分を大切に＝相手を大切に」をキーワードに継続的な取組が必要である。 □性に関する指導の時間との繋がりをもたせたい。 □健康診断のまとめの活用。 □健康に関する内容を教科横断的な視点でマネジメントすること。</p>
<p>今年度の具体的な改善策(取組)</p>	<p>取組の最重点</p>	<p>A: 「生徒主体の活動の充実」 保体委員会を機動させた昼休みの体育館・グラウンド・格技場の活用の工夫 B: 様々な視点から健康を捉えることができるよう、各教科や養護教諭、栄養教諭等と運動したカリキュラム・マネジメントに努める</p>		
	<p>A 体育に関する指導の充実</p>	<p>○コロナ禍での全学年の昼休みの体育館・グラウンド・格技場等の利用者率の向上(期間限定の学年取組種目の実施)を目指す ○教科指導の充実を図る。(準備運動における学年間の漸増的負荷の補強トレーニングと縄跳び運動の実施)</p>		
	<p>B 健康に関する指導の充実</p>	<p>○食に関する指導の充実と推進(保健体育科をはじめ教科横断的視点での推進・家庭への食育の啓発) ○従来から実施している性や健康に関する指導や外部人材の講演、「ストレスマネジメントとさわやかチェック」の指導を継続</p>		
<p>検証の方法</p>	<p>各種調査等の活用</p>	<p>○保健体育の学習状況(評価規準に基づいた)結果の活用 ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の活用 ○学校評価(教職員・生徒・保護者アンケート結果)の活用 ○学校関係者評価委員会(学校関係者評価書)の活用 ○健康と食生活についてのアンケート(小5・中2対象、札幌市学校栄養士会)</p>		